



第25回日本エイズ学会 学術集会・総会のご案内



- ◆テーマ 新たなエイズ制圧への道
- ◆会期 2011年11月30日(水)～12月2日(金)
- ◆会場 ハイアット リージェンシー 東京
〒160-0023 東京都新宿区西新宿2-7-2
- ◆会長 高橋 秀実(日本医科大学 微生物学・免疫学講座 教授)

目次:

第25回エイズ学会の ご案内	1
ACC研修に参加して 岩田倫幸・入江由美	1.2
第7回MSW会議ご報告	3
平成23年度歯科講習会 ご案内	4

◆ACC研修に参加して 歯周診療科 歯科医師 岩田 倫幸



今年9月5～7日に東京都新宿区戸山にある国立国際医療研究センターで開催されたAIDS Clinical Center (ACC) 研修・歯科コースに参加してきました。

数年前から当院歯周診療科にてHIV感染症患者の歯科治療に関わらせていただいていたのですが、専門的な研修を受けず、教科書的な知識のみで診療をおこなっていた状況でした。そこで、今後の歯科治療をよりよいものとするため、より専門的な知識・実際の臨床に基づいた知識を身に着ける必要があると感じ、今回研修を受けることとなりました。

研修の内容は、HIV・AIDSの歴史および診療のポイントに始まり、患者参加型の治療の重要性、検査データの読み方、包括ケアの重要性、HIV治療薬について、他のウイルス感染症およびSTDとの関連、針刺し事故防止と暴露後対策について、などのHIV感染症に関する専門的な項目を学びました。

その後、3日目にはHIV感染症患者に対する歯科治療に関する要点を総論および各論を学びました。2日目の最後には、はばたき福祉事業団の訪問をし、患者支援団体の役割を学びました。さらに歯科受診支援に関する研修を受けました。また、実際に歯科診療室に見学に出向き、実際に行っている感染対策の見学をし、説明を受けました。



特に印象的な研修内容として、3日目に歯科口腔外科医長と病棟医長の先生との質疑応答の機会があり、実際の臨床経験に基づく歯科治療での注意点などを質問することができました。今後の歯科治療に対しての有用な知識を得ることができたと思います。

また、2日目に実際に治療を受けている患者様のお話を聞かせていただく機会を設けていただきました。

3日間を通して、同じく歯科治療に関わる同業者の方ともお話しすることができました。このような機会は、当院でのみHIV感染症患者の歯科治療をおこなっていたならば得ることのない貴重な知識・経験であると考えられるので、とても有意義であったと思います。

(次のページへ続く)

今回の研修会に参加して、HIV感染症患者の歯科治療に対するの役立つ知識を得ることができました。それと同時に、色々な面でのHIV感染症患者の歯科治療の困難さ、歯科医療従事者・歯科スタッフ間での認識の違いも実感しました。



ACCスタッフと研修生と共に
後列右から4人目岩田歯科医師
前列右から2人目入江歯科衛生士

◆ACC研修に参加して 診療支援部 歯科衛生士 入江 由美



9月4日から7日までの3日間、国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター（以下、ACC）の歯科コース研修に

参加してきました。研修参加者は医師・歯科医師・看護師・薬剤師・歯科衛生士の29名で、そのうち歯科医療従事者は5名でした。

現在、私は歯周診療科（歯科）で歯周病患者の歯周治療や口腔衛生管理を行っています。大学病院はさまざまな全身疾患を有する方が多く来院され、開業医勤務時代には接することのなかったHIV陽性者の口腔衛生管理を行う機会も増えました。治療に携わり、患者教育を行う立場の歯科衛生士として、HIV感染症についての知識（基礎知識・治療内容・薬剤について）を深め、HIV陽性者の社会的背景等を理解したうえで患者と関わることが重要だと考え、今回の研修に参加しようと思いました。

ACC研修プログラム内容は、講義として「HIV/AIDS

の歴史、診療のポイント」「初診時検査データの読み方」「HIV/AIDS患者に対する包括ケア」「当センターにおける薬剤師の取り組み」「ウイルス性肝炎（HBV、HCV）」「針刺し事故防止と暴露後対策」「治療ガイドラインと薬剤耐性」「HIV感染症とSTD」などがありました。

また、共通コースでは外来カンファレンスへの参加、外来見学、はばたき福祉事業団の訪問がありました。さらに歯科コースでは、HIV陽性患者の受診支援や臨床におけるHIV陽性者の口腔内の特徴を学び、充実した研修プログラムでした。



「患者理解：患者の体験に学ぶ」という講義では、病名の告知を受けた時のこと、ARTの副作用がどのようなものだったかなど、実際に患者の体験談を聞くことができました。また、「薬を飲み忘れない工夫」、「定期的な通院をわすれたことが

なかったのか？」「職場との関わりは？」「家族に病気のことを告知しているのか？」などの研修受講者からの質問にも答えてくださいました。

もともと明るく前向きな性格だから…でも、なんでも聞いてくれるコーディネーターナースの方には支えられます、という患者の言葉はとても印象的で、治療のみではなく患者の話を聞き、共感することも必要であることを再認識しました。

ACC研修の最終日、歯科コースの講義を受け最も印象に残ったのは、歯科領域における医療連携の難しさです。東京都内には1万件近い歯科医院がありますが、東京都エイズ協力歯科診療所紹介事業に登録している歯科診療所は80件ほどなのだそうです。

HIV感染症が慢性疾患として位置づけられるようになった現在、HIV陽性者の歯科受診ニーズが高まっていく中で歯科医療従事者もHIV感染症についての正しい知識を身につけ、理解しなければならないと考えさせられました。今回研修に参加させていただいたことで、とても貴重な体験になりました。ありがとうございました。



◆第7回HIV/AIDSソーシャルワーカー・ネットワーク会議 開催報告

10月1日(土)、2日(日)の2日間にわたり、中国・四国地方エイズ拠点病院に勤務するソーシャルワーカーを対象として、三原国際ホテルと県立広島大学三原キャンパスの両会場を用いて、標記の会議が開催されました。今年度は7県より13名の方に参加していただきました。

平成23年10月1日(土)

●第1日●

開会挨拶

鍵浦文子(エイズ医療対策室)

講義「HIVの基礎知識」

講師:鍵浦文子(エイズ医療対策室)

話題提供「事例報告」

報告:小野恵子先生(愛媛大学医学部附属病院)
コメンテーター:大下由美先生(県立広島大学)

総合討論

平成23年10月2日(日)

●第2日●

講義「HIV/AIDS患者への支援論入門」

演習「HIV/AIDS患者へのロールプレイによる 援助技術の体験的学習」

講師:大下由美先生(県立広島大学)

グループディスカッション/参加者ロールプレイ

参加者感想・アンケート記入



まずHIV/AIDSに関する基本的な知識を学習し、次に参加者の方に提出いただいた事例を2日間じっくり時間をかけ検討していきました。

その事例を用いた講義の中では、クライアントの生活問題は対人関係の中で生成されているという見方を学習し、問題の見方、解決を作り出す支援について学びました。

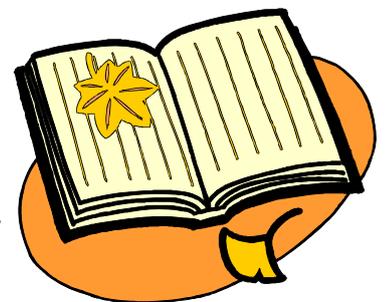


以下は、参加者の感想の一部です。

HIV患者に接したことがなかったので、基礎知識から構築してくれたのは本当にありがたかった。ますますHIV患者が増加してきている様なので、当院でもチーム医療として対応が必要になってくると思った。講義ではHIV患者だけでなく、ソーシャルワークの深さを感じた。よい経験になりました。

病院に勤めている時間が長いせいか、ソーシャルワーカーではなく「医療者側の視点」に立ってしまっている自分に今回気付かされました。「社会」「生活」の視点を改めて見直そうと思いました。

休憩時間や懇親会では、参加者同士の情報交換も活発になされていました。知識の習得だけでなく、ソーシャルワーカー同士のネットワーク作りに役立つ会議となったのではないかと思います。



(エイズ医療対策室 ソーシャルワーカー 石原麻彩)

◆「平成23年度歯科診療スタッフのためのHIV感染症に関する講習会」のご案内

本院は厚生労働省が定めたエイズ治療のための中国四国地方ブロック拠点病院として、医療従事者のための教育・研修の役割を担っております。この度、歯科医療従事者がHIV感染症についての正しい理解を図り、適切な感染防止策を講じることによってHIV陽性者の歯科医療確保につながるよう講習会を開催致します。

当日参加も可能です。事前に申し込みをされた方には受講証明書を発行いたしますので、エイズ医療対策室(内線5351)に11月4日(金)迄にご連絡ください。

皆様、お誘い合わせのうえ、多数ご参加くださいまうようお願い致します。

日時:平成23年11月27日(日)13:00~17:00

場所:広島大学病院 医学部第5講義室

プログラム:

13:00~13:10 開会の挨拶 (広島大学病院 主席副病院長 栗原 英見教授)

13:10~14:30 講演①「HIV感染症の概要(疫学・病態・治療法)」

講師:広島文化学園大学看護学部 高田 昇先生

14:30~14:45 休憩

14:45~15:15 講演②「血液曝露後の対応」

講師:広島大学病院エイズ医療対策室長 藤井 輝久准教授

15:15~15:30 休憩

15:30~16:50 講演③「米国CDCの勧告にもとづく、歯科診療における

Standard Precautions 実施への工夫」

講師:医療法人社団皓歯会 前田 憲昭先生

16:50~17:00 閉会の挨拶(広島県歯科医師会 常務理事 三反田 孝先生)

対象:広島県歯科医師会会員・準会員の歯科医師、歯科衛生士及び本院歯科診療スタッフ

主催:広島大学病院 共催:広島県歯科医師会

お問い合わせ先:エイズ医療対策室(内線5351)



〈ご意見募集〉

ご意見やご希望がございましたら、
エイズ医療対策室(内線5351)までお寄せください。